

追加資料 たつの子講演会

竹田契一

試験問題

問題文の文字拡大
 チェック解答の許可
 PC読み上げソフトの活用
 行間を開け、読みやすくする
 1.3倍の時間延長の許可
 口頭での回答の許可

ノート・テーカーの採用

聴覚障害のある学生への特別支援として
 ボランティア学生によるノートテーカー

アメリカのワシントン大学、ハワイ大学の
 就学支援センターでは、LDのある生徒への
 ノートテーカーを認めている

ハワイ大学では、週2科目まで利用可能

AT持ち込み許可（補助機能）

iPad等のタブレットの持ち込み
 板書されたものをiPadなどで撮影し整理する
 計算機の使用
 講義の録音
 ノイズ キャンセリング ヘッドホーンの活用

LD ADHD 自閉スペクトラム症の特性に応じた
 配慮を認める

別室受験・試験問題の代読

平成26年度の大学入試センター試験での代読認
 可を受けて、LD学生への試験問題代読への
 道が開けた
 他の学生とフェアな競争であるかどうか
 認可のポイント
 中学・高校での実績を評価

学生の特性に合わせた説明

入学時に、大学生活全般についての説明
 本人に理解できるように具体的に説明
 どのような行為が停学処分、退学処分に該当
 するかを具体例を挙げて説明
 「一を言って十をさとる」はない
 本人と保護者に対して丁寧に説明すること

発達障害学生への対応

発達アセスメント・面接・中高での様子・保護者からの申し出などから これからどのように関わるかの指導プログラムを作成する
 全ての教官への情報徹底と具体的配慮への指導
 本人へ、個別の指導計画内容の理解を取る
 4年間の過ごし方と将来ビジョンの理解
 大学には出来ることと、出来ないことがあることの理解
 家庭が責任を持つことと大学が責任を持つこと

アメリカの大学での配慮

- ・ 米国の大学における合理的配慮の例
- 1. 試験の配慮
 - 別室受験、時間延長、代筆、代読
- 2. 記録の代替
 - ノートテイキング、録音の許可
- 3. 教材へのアクセシビリティ
 - 教科書・教材の代替フォーマット(点字、音声、拡大、電子テキストファイル等)の製作、字幕のないビデオ教材への字幕追加
- 4. 音声言語へのアクセシビリティ
 - 手話通訳、リアルタイム・キャプション
- 5. 建物とその機能へのアクセシビリティ
 - 教室、寮、コンピュータ室、図書館、実験室等
- 6. 支援技術による自立サポート(1～5を技術的に支援)
 - 音声読み上げソフト・装置、音声認識入力、代替入力装置(特殊キーボードやマウスなど)、録音・メモ装置、拡大カメラ、タイマー、耳栓等
- ・ 障

ICTや補助用具等の活用

- ・ 視覚的に情報を提供することが効果的な場合に、各種パソコンソフト、図表、写真、動画を活用
- ・ 読み書きの場合は、拡大、アンダーライン、振り仮名、昇目のある計算用紙など
- ・ 音声図書やデジタルカメラの使用、電卓、読み上げなど
- ・ 文字データや音声読み上げソフトの提供
- ・ 注意集中を促すため、ノイズキャンセリングヘッドホン、衝立など